



学校適正化検討協議会の進め方について

「大甕・太田地区の学校の今後のあり方」の検討をより丁寧に進めるため、保護者や地域の皆さまとの対話をこれまで以上に大切にし、双方向のコミュニケーションを活性化することを目指します。

【目指す姿】

- ① 議論の深化 : 保護者や地域の皆さまの多様な意見を協議にいかします。
- ② 丁寧な合意形成 : 「議題提示⇒意見集約⇒協議」のサイクルで丁寧に合意形成を図ります。
- ③ 参加しやすい仕組み : 誰もが意見を届けやすいよう、複数の意見表明の機会を設けます。



1. 協議会の協議議題における意見集約の全体像

協議会の協議議題については、オンライン意見箱を用いて広く意見集約を行います。

集約した意見は、以下のプロセスで協議に反映いたします。

協議会

■ 議題の共有

- 市教委が論点やたたき台を提示します。

【ポイント】この場では結論を出しません。

市教委で、協議会開催後に資料等をホームページに掲載し、オンライン意見箱を設置します。

オンライン 意見箱

■ 意見集約

- 個人が意見箱に意見を投稿します。
(未就学児を含む保護者、地域住民など個人としての意見表明)
- 市教委で意見を集約します。

協議会

■ 意見の報告・協議

- 市教委からオンライン意見箱で集約した意見を説明し、それを踏まえて協議会で議論し、方向性を検討します。

このサイクルを繰り返すことで、丁寧な合意形成を目指します。



2. 協議会の進め方の具体的なイメージ

毎回、協議会は、「前回の議題の深掘り」と「今回の新しい議題の共有」の2部構成で進めるイメージです。

時間（目安）	内容	主な役割
前半（約30分）	【前回の議題の協議】 <ul style="list-style-type: none"> 市教委からオンライン意見箱の意見報告 意見を踏まえた協議・質疑応答 協議会としての方向性の検討 	【市教委】 <ul style="list-style-type: none"> オンライン意見箱の意見を報告
後半（約60分）	【今回の議題の提示】 <ul style="list-style-type: none"> 市教委から新たな議題の説明 議題に対する質疑応答・意見交換（方向性決定のための論点整理） 	【全委員】 <ul style="list-style-type: none"> 議題への理解を深める